

奇跡 #8: 復活  
演者:ポー・スターン・ブレイディー  
2023年・8月・13日

「第四の福音書が命の福音だと言うなら、このラザロのエピソードは第四福音書の縮小版です。」-アンドルー・T・リンコーン

ヨハネによる福音書 11。 歴史。 このテキストは聖地です。

この章はイエスとの一連の出会いとして見ることができます。姉妹たち、弟子たち、ラザロ、パリサイ人の評議会。彼らは皆、同じ物語が目の前で繰り広げられるのを見えています。しかし、誰もが生命の創造主との独自の経験をしています。ある者は神に疑問を抱き、ある者は神を疑い、ある者は神を崇拜し、ある者は神を殺害しようと計画します。視点。

“さて、ひとりの病人がいた。ラザロといい、マリヤとその姉妹マルタの村ベタニヤの人であった。このマリヤは主に香油をぬり、自分の髪の毛で、主の足をふいた女であって、病気であったのは、彼女の兄弟ラザロであった。姉妹たちは人をイエスのもとにつかわして、「主よ、ただ今、あなたが愛しておられる者が病気をしています」と言わせた。”

ヨハネによる福音書 11:1-3 口語訳

「選手たちは誰なのか。それらがどのように知られているか。彼らは、「来てください」とは言いませんでした...ただ、「主よ、ご覧ください、あなたの愛する人が表記です」とだけ言いました - まるで、「あなたが知っているだけで十分です」と言わんばかりです。なぜなら、あなたは愛し、そして捨てる人ではないからです。」 - アウグスティヌス  
これが、この物語を進める上でのすべての疑問の核心となるでしょう。これは、私たちが直面し、尋ねる多くの質問の核心でもあります。

“イエスはそれを聞いて言われた、「この病気は死ぬほどのものではない。それは神の栄光のため、また、神の子がそれによって栄光を受けるためのものである」。 イエスは、マルタとその姉妹とラザロとを愛しておられた。ラザロが病気であることを聞いてから、なおふつか、そのおられた所に滞在された。”

ヨハネによる福音書 11:4-6 語訳

イエスはあと二日滞在されます。これは悲痛な発言です。しかしヨハネは、イエスがマルタとその妹、そしてラザロを愛し、心配していたことを私たちが理解できるようにします。それなのに...二日。彼は待っていました。そしてラザロは死にます。イエスは最後にこう言われました。

“さて、イエスが行ってごらんになると、ラザロはすでに四日間も墓の中に置かれていた。ベタニヤはエルサレムに近く、二十五丁ばかり離れたところにあった。大ぜいのユダヤ人が、その兄弟のことで、マルタとマリヤとを慰めようとしてきていた。 マルタはイエスがこられたと聞いて、出迎えに行ったが、マリヤは家ですわっていた。マルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう。”

ヨハネによる福音書 11:17-21 口語訳

マーサは途中で彼に会いました。彼女は彼が家に着くのを待ちません。彼女は彼のところにやって来ます。メアリーは中にいます。どちらも同じ悲しみを異なる方法で処理しています。

“しかし、あなたがどんなことをお願いになっても、神はかなえて下さることを、わたしは今でも存じています”。 イエスはマルタに言われた、「あなたの兄弟はよみがえるであろう」。 マルタは言った、「終りの日のよみがえりの時よみがえることは、存じています」。 イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか。 ”

#### ヨハネによる福音書 11:22-26 口語訳

今でも... マーサは神の力を信じています。しかし、イエスがさらに深く掘り下げると、彼女はイエスが自分の弟を死からよみがえらせるとは信じません。イエスは気を引き締めて彼女に重要な質問をしました。「あなたはこれを信じますか？」

“マルタはイエスに言った、「主よ、信じます。あなたがこの世にきたるべきキリスト、神の御子であると信じております」。

#### ヨハネによる福音書 11:27 口語訳

マルタは答えますが、イエスの質問には答えません。これが彼女に残されたたった一つの真実なのか？ 私はあなたがあなた自身であると信じています。しかし、彼女が選択した返答の仕方には疑問が含まれています。私にとってあなたは私が思っていた通りの人だと信じていますか？

“ベタニヤはエルサレムに近く、二十五丁ばかり離れたところにあった。 大ぜいのユダヤ人が、その兄弟のことで、マルタとマリヤとを慰めようとしてきていた。 マルタはイエスがこられたと聞いて、出迎えに行ったが、マリヤは家ですわっていた。マルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう。しかし、あなたがどんなことをお願いになっても、神はかなえて下さることを、わたしは今でも存じています」。 イエスはマルタに言われた、「あなたの兄弟はよみがえるであろう」。 マルタは言った、「終りの日のよみがえりの時よみがえることは、存じています」。 イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」。 マルタはイエスに言った、「主よ、信じます。あなたがこの世にきたるべきキリスト、神の御子であると信じております」。 マルタはこう言ってから、帰って姉妹のマリヤを呼び、「先生がおいでになって、あなたを呼んでおられます」と小声で言った。 これを聞いたマリヤはすぐに立ち上がって、イエスのもとに行った。

イエスはまだ村に、はいつてこられず、マルタがお迎えしたその場所におられた。 マリヤと一緒に家にいて彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急いで立ち上がって出て行くのを見て、彼女は墓に泣きに行くのであろうと思ひ、そのあとからついて行った。”

#### ヨハネによる福音書 11:18-31 口語訳

イエスはマルタにマリヤを送り出すように頼みます。なぜ？ イエスの最初の目的地はラザロではないでしょうか。彼は墓まで走るべきではないでしょうか？ そうすれば問題は解決し、質問に

も答えられます。しかし、彼はそうではありません。なぜ彼はメアリーの弟を死から蘇らせる前にメアリーに連絡を取ろうとするのでしょうか？関係。

ユダヤ人たちは彼女の家にいて、彼女が墓の前で悲しむだろうと思って彼女を追ってきました。人々はあなたの成功、才能、愛を追ってイエスのもとにたどり着くかもしれません。しかし、彼らはあなたの悲しみを追ってイエスのところへ行くだろうと私は確信しています。悲しみには、私たちを立ち止まって見つめさせる何かがあります。彼らはメアリーの悲しみを追います。

“マリヤは、イエスのおられる所に行ってお目にかかり、その足もとにひれ伏して言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう。」”

### ヨハネによる福音書 11:32 口語訳

メアリーは妹と同じ発言をしますが、異なる立場から発言します。彼女は悲しみの中でも礼拝の場から彼に近づきます。イエスはどちらをより愛していますか？どちらでもない。マーサは感情を正直に表現しても訂正されたり拒否されたりすることはなく、メアリーは感情を優しく表現しても報われません。彼らは同じ混乱を抱え、さまざまな感情に包まれています。しかし、私自身の生活の中で、礼拝の場からイエスに自分の疑い、恐れ、混乱を伝えるなら、イエスが何をなさったかを知り、イエスの主権だけでなく私の人生におけるイエスの善意を理解すれば、もっとイエスの声を聞くことができることに気づきました。私が神が時間通りに来るべきだったという何百万もの理由を考えて熱中したときよりも明らかです。イエスに対する私たちの反応によって、イエスが私たちについてどう感じられるかは少しも変わらないと思います。イエスに対する私たちの感じ方、そして私たちの人生におけるイエスの働きに影響を与えるのは確かだと思います。

“イエスは、彼女が泣き、また、彼女と一緒にきたユダヤ人たちも泣いているのをごらんになり、激しく感動し、また心を騒がせ、そして言われた、「彼をどこに置いたのか」。彼らはイエスに言った、「主よ、きて、ごらん下さい」。イエスは涙を流された。”

### ヨハネによる福音書 11:33-35 口語訳

イエスの人間性。イエスはこれから何が起こるかを知っています。彼はラザロがその墓から出て行こうとしていることを知っています。彼はすでに弟子たちに、これから起こしてあげると言っていました。しかし、彼は今でも死の棘に対して悲しみ、怒りを感じています。私は疑問に思います。イエスはこの瞬間、死を完全に吹き飛ばそうとしていることを知っていて、十字架の先を見据えているのでしょうか？イエスご自身の死が死の様相をどのように永遠に変えるか知っていますか？

“するとユダヤ人たちは言った、「ああ、なんと彼を愛しておられたことか」。しかし、彼らのある人たちは言った、「あの盲人の目をあけたこの人でも、ラザロを死なせないようには、できなかったのか。」”

### ヨハネによる福音書 11:36-37 口語訳

展望。神の愛が誇示されていると見る人もいれば、神の怠慢を見る人もいます。まったく同じ状況です。まったく異なる視点。正しいのは 1 つだけです。必要な証拠がすべて揃っていると感じているにもかかわらず、私たちは神を誤解していることがあります。

“イエスはまた激しく感動して、墓にはいられた。それは洞穴であって、そこに石がはめてあった。イエスは言われた、「石を取りのけなさい」。死んだラザロの姉妹マルタが言った、「主よ、もう臭くなっております。四日もたっていますから。」

#### ヨハネによる福音書 11:38-39 口語訳

ジョンはすでにこの物語の中で何度か、マーサが誰であるかを正確に語っていました。彼がここで彼女に「死んだ男の妹」というラベルを付けているのが大好きです。マーサは死体の擁護者になった。そして私は彼女に対するイエスの答えが大好きです。

“イエスは彼女に言われた、「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、あなたに言ったではないか」。人々は石を取りのけた。すると、イエスは目を天にむけて言われた、「父よ、わたしの願いをお聞き下さったことを感謝します。あなたがいつでもわたしの願いを聞きいれて下さることを、よく知っています。しかし、こう申しますのは、そばに立っている人々に、あなたがわたしをつかわされたことを、信じさせるためであります」。こう言いながら、大声で「ラザロよ、出てきなさい」と呼ばわれた。すると、死人は手足を布でまかれ、顔も顔おおいで包まれたまま、出てきた。イエスは人々に言われた、「彼をほどこいてやって、帰らせなさい。」

#### ヨハネによる福音書 11:40-44 口語訳

そしてまさにそのようにして、悪夢は終わりました。ラザロは死の顎から逃れます。これは、これまでほとんどの人が見たことのない正真正銘の奇跡です。これは世界をひっくり返すはずですよ？

“マリヤのところにきて、イエスのなさったことを見た多くのユダヤ人たちは、イエスを信じた。しかし、そのうちの数人がパリサイ人たちのところに行って、イエスのされたことを告げた。”

#### ヨハネによる福音書 11:45-46 口語訳

あの日、ベタニアでイエスがラザロにしてくださったことと同じように、十字架上で私たち全員にしてくださいました。これを最後にきっぱりと。死は無効化されました。

“あなたがたは、先には罪の中にあり、かつ肉の割礼がないままで死んでいた者であるが、神は、あなたがたをキリストと共に生かし、わたしたちのいっさいの罪をゆるして下さった。神は、わたしたちを責めて不利におとし入れる証書を、その規定もろともぬり消し、これを取り除いて、十字架につけてしまわれた。そして、もろもろの支配と権威との武装を解除し、キリストにあって凱旋し、彼らをその行列に加えて、さらしものとされたのである。”

#### コロサイ人への手紙 2:13-15 口語訳

(これにはたどり着けないかもしれない)

“しかるに、あわれみに富む神は、わたしたちを愛して下さったその大きな愛をもって、罪過によって死んでいたわたしたちを、キリストと共に生かし——あなたがたの救われたのは、恵みによるのである——キリスト・イエスにあって、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さったのである。それは、キリスト・イエスにあってわたしたちに賜った慈愛による神の恵みの絶大な富を、きたるべき世々に示すためであった。”

## エペソ人への手紙 2:4-7 口語訳